

平成28年1月14日に室蘭市内で震度4を観測した地震への対応について

1. 時系列

- 12時25分 各自の携帯等で緊急地震速報を受信→緊急地震速報受信の全館放送  
→地震発生:震源地は浦河沖、地震の規模はM6.7→中央制御室で地震H警報(2.5ガル以上で発報)→設備点検を開始→テレビ等で情報入手を開始
- 12時32分 室蘭市内で震度4を観測した旨のNHKテレビ速報→その後、気象庁の地震速報のホームページにより、室蘭市寿町で震度4、室蘭市山手町で震度2を確認
- 12時33分 緊急時対応マニュアル及び防災規程に基づき自衛防災隊を設置
- 12時35分 事業所内地震計で2.2ガル(震度3相当)を観測したことを確認
- 12時40分 当初施設及び増設施設の指揮本部及び消防隊の設置完了  
(12時40分頃 海上保安本部警備救難課及び室蘭市環境課から問合せ→設備点検中と回答)
- 12時43分 関係機関及び本社への第1報「自衛防災隊設置及び設備点検実施中」の発信開始  
【連絡先:北海道庁(循環型社会推進課)、胆振総合振興局(環境生活課)、室蘭市(環境課)、室蘭市消防本部、室蘭警察署、室蘭海上保安部、室蘭労働基準監督署】
- 12時45分 当初施設点検終了→異常なしを確認
- 12時46分 関係機関及び本社への第1報の発信完了
- 12時53分 当初施設及び増設施設のオンラインモニタリング値の異常なしを確認
- 12時55分 増設施設点検終了→異常なしを確認
- 13時00分 自衛防災隊を解散→関係機関及び本社への第2報「設備異常なし及び自衛防災隊解散」の発信開始
- 13時10分 関係機関及び本社への第2報の発信完了

2. 対応への反省と今後の対応

(1) 対策本部一連絡・渉外班

(反省事項)携帯電話による对外通報はスムーズに行えたが、第1報通報連絡票のFAXに誤って「訓練」と記載あるものを送信してしまった。

(今後の対応)通報連絡票のFAXについては、対策本部長又は対策副本部長など連絡・渉外班員以外の確認を受けてから発信する。

(2) 指揮本部(増設)

(反省事項)指揮本部を増設施設2階会議室に設置後、滞りなく必要な情報収集を行ったが、テレビ等外部からの情報を入手するためのツールがなく、地震に関する情報が直接入手できず、一抹の不安を感じた。なお、当初施設側はテレビ設置済。

(今後の対応)指揮本部設置箇所にテレビなどの外部からの情報入手ツールを確保することを検討する。

3. まとめ

全体としては総合防災訓練に即した活動ができたとの評価であるが、上記のとおり今後の対応が必要な事項も抽出されたことから、必要な対応を進めることとする。